国際ロータリー
第2570地区

2025-26

UNITE FOR GOOD

川越ロータリークラブ
会　報　No.42

Rotary

2026 年 5 月 26 日　第 3570 回例会　会場：川越プリンスホテル 5 階
会員数 100 名　免除出席 8 名　正会員出席 40 名　出席者 48 名　出席率 55.81%

プログラム
点鐘（12：30）／ロータリーソング（第 3 例会：それでこそロータリー・四つのテスト）／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：山﨑ＳＡＡ〉

《卓話講師紹介》ＮＰＯ法人フェアスタートサポート：永岡鉄平様・小金井花様・井上笙子様

会長の時間

2025-26 年度　会長　吉澤　徳安

憲法学者・長谷部恭男氏の著書「憲法と平和を問い直す」では、憲法問題の複雑さと重要性が強調されています。長谷部氏は、安倍政権時の安保関連法案を国会で、自民党側の参考人ながら「違憲」と述べた人物です。長谷部氏は、「憲法の本質というのは国家権力の暴走に、その制限速度、つまり冷徹なブレーキを踏ませるためのもの」と述べています。現在の日本では、「強い日本」というノスタルジアやメディアの風潮に流され、国家権力への大切な「ブレーキ」を外そうとする風潮への警鐘を鳴らしています。

司馬遼太郎は著書「この国のかたち」の中で、日本人の歴史的特性について「日本人は歴史的に見て徹底的なリアリスト、いわゆる実利恭順主義者であり、思想は外から来るものと考え、現実的・効率性のみで物事を判断しがちである。従って、自分を支える絶対的な哲学とか背骨を持たないが故に、社会全体が大きな危機に直面した時、日本人は自分で深く考えることをやめ、その場の空気やメディアが煽る流行の風にものすごい勢いで同調してしまう傾向がある。これは戦前の軍国主義の時代に起きたことと重なる。」と指摘しています。また、「本来の「公」は国家や政府のことではなく、私たち一人ひとりが主体的に支えるべき社会の共有価値や倫理を指すものだが、日本人は「国のため」「公のため」という偽りの「公」に盲従し、思考停止に陥る危険性がある。」とも指摘しています。

最近の「フォーリン・アフェアーズ」に掲載された「Point of No Return」という記事での「日本の軍国主義化は不可逆的になっている」という内容を読むと、現状の日本への強い危機感を感じます。こう言う環境下において、ロータリークラブに集う地域を代表するリーダーたちが、「きちんと舵取りをしていく」ことが重要であると考えます。

幹事報告

2025-26 年度　幹事　高橋　哲彦

配布物：会報、卓話資料、川越若手社会人会議チラシ、ロータリーの友 5 月号、同要約版

回覧：ＮＰＯ法人フェアスタートサポートへ募金

委員長報告

職業・社会奉仕委員会：八木統括委員長

5 月 17 日（日）小江戸モーターギャラリーでクラシックカー展示とポリオの募金活動を行いました。合計 14,500 円の募金が集まりました。

広報委員会：鬼頭会員　ロータリーの友 5 月号

青少年奉仕月間。ロータリーの未来のために若者の声に耳を傾け、青少年プログラムを通じて次世代リーダーを育てることの重要性が示されています。ガバナーのロータリー・モメントに、坂口ガバナーをしのぶ相原ガバナーの記事掲載。

野溝会長エレクト

グローバル補助金によるモンゴルへの救急車贈呈プロジェクトの現地調査が完了しました。今回、日本大使館、現地の保健局、アジア開発銀行、モンゴル保健省、JICA 等を訪問し、今後は、財団への申請書作成を進め、審査プロセスに進みます。

６月のお祝い　親睦委員会

会員誕生	会員ﾊﾟｰﾄﾅｰ誕生	結婚記念
立原　雅夫	小杉國武・保子	原　敏成

小原　祥三郎	小原祥三郎・恵子	小髙　章
藤倉　省一	橋本定寛・浩代	中野　英幸
鈴木　健二	藤田龍一・真美	吉澤　徳安
山田　哲也	廣澤光昭・恵美子	京野　弘一
中野　文夫	山口滝太・聖子	五十嵐　昭洋
	蓼沼光夫・ひろみ	小林　徹
	中田庸司・美有紀	齋藤 恭子

次週卓話担当：親睦委員会・永島委員長

ニコニコボックス

●ＮＰＯ法人フェアスタートサポート代表理事永岡鉄平様、コーディネーター小金井花様、アシスタントコーディネーター井上笙子様、本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。＜会長、幹事＞●本日の卓話、ＮＰＯ法人フェアスタートサポート代表理事永岡鉄平様、コーディネーター小金井花様、アシスタントコーディネーター井上笙子様よろしくお願いします。＜神谷、野溝、住谷、小杉、中野（文）、八木、齊藤（智）、小林（勇）、和田、馬場（常）、新井、中田（浩）＞●グローバル補助金モンゴル救急車寄贈現地調査、無事終了致しました。＜野溝、西澤、小杉、水村、髙橋（徹）、住谷、中野（文）、戸口、齊藤（智）、小髙、馬場（常）、近藤、中田（浩）、長岡＞●正式の決定は後日とのことですが（馬場弘会員情報）氷川神社の本殿が国の重要文化財となります。市民として嬉しく思います。＜西澤、野溝、住谷、小杉、栗林、中野（文）、齊藤（智）、小髙、馬場（常）、近藤、金剛、鬼頭、中田（浩）、井上＞●川越市の公設に依れば４月２日川越市と(株)セコムがスポーツ分野における連携協定を締結しました。これは小杉会員の情報提供に依るものだと思います。＜西澤、小杉＞●このたび、鏡山は全国新酒鑑評会において金賞を受賞することができました。「さけ武蔵」で挑み続けてまいりました。鑑評会で「さけ武蔵」の金賞は弊社１社だけです。これからも川越の風土を映す酒を追求し、一杯に地域の誇りを込めて醸してまいります。＜五十嵐、神谷、荻原、小杉、髙橋（徹）、齊藤（智）、小林（勇）、馬場（常）、近藤、新井、小橋、金剛、鈴木（崇）、中田（浩）＞合計６３，０００円

卓話：担当　プログラム委員会

講師：ＮＰＯ法人フェアスタートサポート
　永岡鉄平代表理事、小金井花コーディネーター、
　井上笙子アシスタントコーディネーター
演題：児童養護施設と企業とのパートナーシップにより、子供たちが「社会的に育まれる地域」の実現へ

永岡鉄平代表理事　NPO 法人フェアスタートサポートは、児童養護施設や里親家庭など、いわゆる社会的養護のもとで育った子どもたちの就労と自立を専門に支援する団体です。彼らは様々な事情から親を頼ることができず、18 歳で施設を卒業すると同時に、セーフティネットのない状況で一人立ちを強いられます。社会的養護出身者の約半数は 1 年以内に離職してしまい、また、月収 15 万円未満で生活している若者が約 4 割を上回り、一度つまずくと生活困窮や孤立という負の連鎖に陥りやすいという厳しい現実があります。

　早期離職の要因は、住む場所と仕事を同時に確保する必要があるため、適性を考える余裕がなく、住み込みや寮があるという理由だけで就職先を選びがちなことによります。また、親の不適切な教育（虐待など）が原因で、大人への不信感、自信の欠如、チャレンジへの苦手意識を持つことが多いです。親がまともに働いていないケースが多く、社会で働くイメージが持ちにくく、また、施設職員の多くは保育士であり、就労支援に関する専門知識が十分ではない現状があります。

　彼らに在学中からの企業見学やインターンシップの機会を創出し、彼らの境遇を理解する企業との丁寧なマッチングを行っています。さらに、就職後も定期的な食事会や相談を通じて、息の長い伴走支援を継続しています。フェアスタートサポートの支援を受けた若者の早期離職率は 18%に低下しており、これは一般の離職率（約 15%）に近づく実績です。この数字は本人たちに原因があるのではなく、環境に問題があることを示唆しています。

小金井花コーディネーター（里親家庭出身者）
　私は幼少期の虐待経験から、大人への恐怖感や人とのコミュニケーションに苦手意識を抱えていました。進路選択で失敗し、フリーターとして「自分は一生このアルバイトしかできない」という絶望感に苛まれていました。フェアスタートサポートとの出会いを通じて多くの大人と交流し、「社会ってあったかいな」と感じ、学ぶことがでるようになりました。私自身の経験をもとに、社会的養護の子供たちに「社会ってあったかいんだよ」と伝えたく活動しています。

協力のお願い　フェアスタートサポートは、皆さまに企業見学や就労体験の機会提供、大人との交流機会の創出、および活動への資金支援をお願いしたいと思います。